

阿岐のまほろば

Vol. 15

さい じょう ぼん ち ひがし よう しょう
西 条 盆 地 の 東 の 要 衝

かみふけ ど い や し き あ と さいじょうちやうかみ み なが
上泓土居屋敷跡 (西条町上三永)



上泓土居屋敷跡は、西条町上三永に所在し、耕地整理に伴って、平成10年11月に発掘調査を行いました。

遺跡の中心部は、やや小高くなった畑地で、現在は民家が建っています。当初は30m×50mほどの長方形をした屋敷跡と考えられていましたが、調査の結果、南側の尾根続きを三日月形の空堀で切離し、中央がやや高く、北と南に1段ずつ平坦面を持った小規模な山城跡であることが判明しました。

空堀の規模は、幅約5m、深さは深いところで約2mありました。

お城が使われていた時代は、出土品などから、15世紀後期から16世紀中頃と考えられます。

この場所は、西条盆地の最東端にあたり、西条盆地の出入口がもっとも狭まった場所になります。ここを軍事的に押さえることは、西条盆地の防衛のみならず人や物資の流れを掌握する上でも欠くことができない場所といえます。

また、それを裏付けるように当遺跡の約250m西方には、前回紹介しました荒谷土居屋敷跡の平城があり、約300m東方には峠城跡と呼ばれる城跡があります。荒谷土居屋敷跡の平城は最盛期がほぼ上泓土居屋敷跡の城と重なりますので、狭い地域に城館を集中させて二重三重の防御網を構築

していた状況がうかがえるのです。

ところで、上泓土居屋敷跡の城が造られる以前の鎌倉時代、この場所には豪族の居館があったようです。

南から北に広がる幅100mほどの谷全体を使い、東西の尾根を土塁として北を正面にしていたと思われます。東西の土塁の内、西側のものは、後世上泓土居屋敷跡の城になっており、規模の雄大さうかがえます。

見つかった遺構は、大型の柱穴を持った2間×2間の総柱建物跡や鍛冶炉跡などで、出土品の中には市内でもほとんど見つからない中国宋代の青白磁合子があり、かなりの有力者の屋敷だったことがうかがえます。

このような居館がこの場所に造られたことも当地域の重要性を物語るものでしょう。

当遺跡は、その後畠や棚田になりましたが、水田化したのは、出土遺物などから、廃城後ずいぶん経った江戸時代後期の19世紀初め頃と考えられます。

また、東広島市域では初めて縄文時代後期後半の遺構・遺物が出土しています。縄文人も西条盆地の東の出入口である当地域の重要性をよく知っていたのでしょう。(吉野)



上泓土居屋敷跡位置図 (1:25,000)

1. 上泓土居屋敷跡 2. 荒谷土居屋敷跡 3. 峠城跡

だれの屋敷？

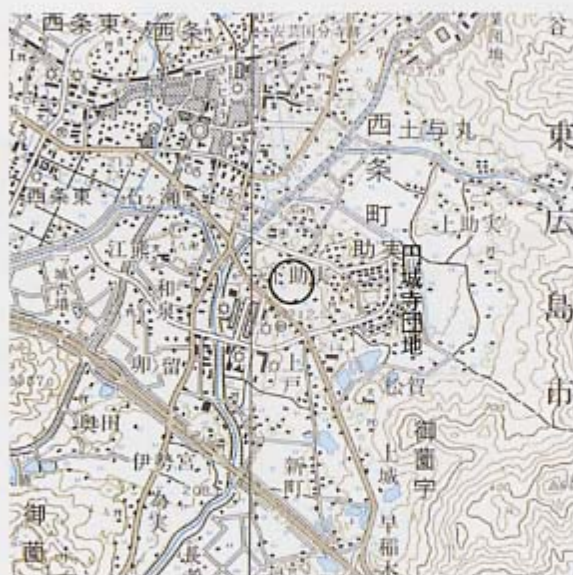
しもうわど いせき かいじょうちう む そひ う すけざね
下上戸遺跡 (西条町御園宇・助実)



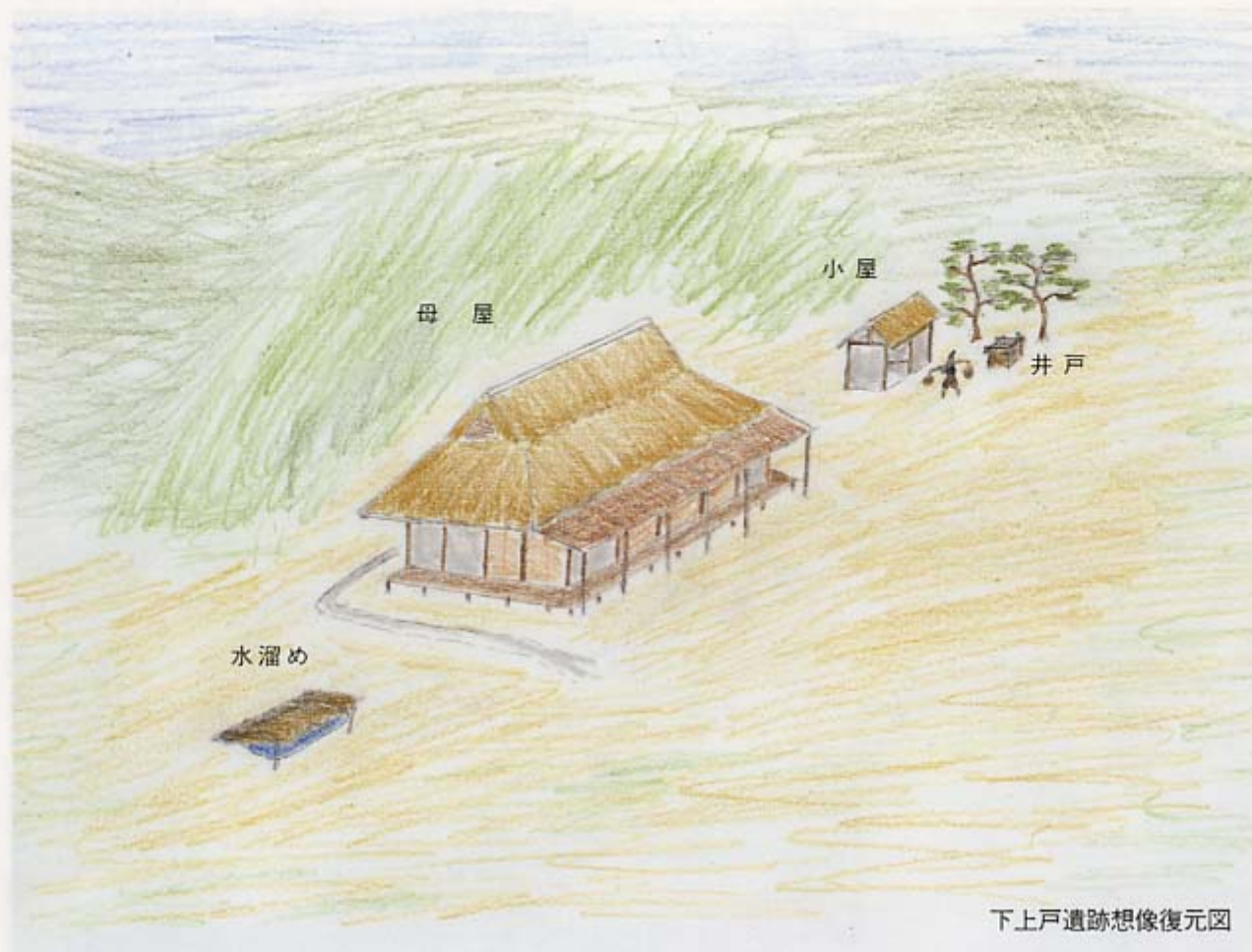
しもうわど いせき
下上戸遺跡は、西条町御園宇・助実に所在した遺跡です。平成11年2月、店舗建設に伴って発掘調査を実施しました。

調査の結果、弥生時代と平安時代から鎌倉時代の溝や掘立柱建物跡、室町時代の屋敷跡があったことが明らかになりました。

この内、室町時代から戦国時代にかけての屋敷跡は母屋と考えられる大規模な建物跡と付属の建物と考えられる小規模な建物跡、水溜のような池、そして、井戸が見つかりました。建物跡を始め、遺構の多くは調査区の外に広がるため、全体像は不明ですが、この時代の屋敷の姿がおおよそ明らかになったといえます。



下上戸遺跡位置図 (1:50,000)



下上戸遺跡想像復元図

母屋は、ほぼ真南に向いており、東西約13m、南北6m以上の大規模なものです。また、建物跡の北側と西側には一回り大きく溝が残っており雨落ち溝と考えられます。

母屋の東側には東西約3m、南北約2.5mの小さな建物跡が見つかり、西側にも同様の建物があったようですがはっきりしませんでした。

母屋の西側には東西約4m、南北約2.5m、深さ約60cmの水溜のような穴が掘っており、ここには藁か萱で簡単な屋根が葺いてあったようです。穴の中からは、土器のほか、漆塗りの碗や銅でできた小さな引き手が出土しました。引き手は、茶簞笥のようなものに使われていたのでしょうか。

井戸は、素掘りの井戸で、東側の小さな建物跡のさらに東南に位置しています。一辺約1mの四角形で深さは約4mもありました。また、この井

戸からは、2枚の木簡^{もっかん}が出土しました。その内の1枚には「南無水神天王」の文字のほか長禄3年の年号が入っており、この井戸が1459年に造られたことを示していると思われます。屋敷もこの頃に造られたものでしょう。(吉野)

勸 東広島市教育文化振興事業団 文化財センター報

阿 岐 の ま ほ ろ ば Vol. 15

発行日 1999(平成11)年3月31日

編集 財団法人東広島市教育文化振興事業団/文化財センター
発行 東広島市西条町大字馬木541-1
TEL 0824-25-3880 〒739-0033

印刷 電子印刷株式会社
広島市中区堺町1-1-5